

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p align="center">「技を磨き、地域社会に貢献できる工業人材を育成する学校」</p> <p>生徒の関心に応じて専門分野を選択できる得意技コース制や、ものづくりを通じた教育の充実により、確かな工業技術を身に付け、地域の産業や社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー ○「挑戦は未来を創る」を合言葉に、何事に対しても積極的に挑戦する態度を育む。 ○あいさつ5S活動を通して、気持ちの良い挨拶、社会人としての礼儀作法を身に付ける。 ○地域を愛し、積極的に地域貢献しようとする人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>カリキュラム・ポリシー ○生徒が希望する資格や技術を習得し、進路を実現するための「得意技コース制」の充実 ○地元企業への工場見学・インターンシップの実施など、地域と連携したキャリア教育の推進 ○地域貢献の精神を育成するための「テクノボランティア」の実施 ○習熟度別・少人数指導、ICT機器の活用など、きめ細かな授業の展開</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>アドミッション・ポリシー ○ものづくりに興味がある人 ○資格や技術を身に付けて自らの進路を見つけたいと思っている人 ○何事も粘り強く取り組むことができる人 ○人と協力して積極的に取り組む姿勢を持っている人 ○学校行事や部活動にも積極的に取り組むことができる人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>1 教育活動全体をとおして「質実剛健 勤労力作 創意工夫」という校訓の心を育む。 2 ものづくり教育をとおして、工業高校として魅力ある学校づくりに邁進する。</p>		<p align="center">評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p align="center">年度重点目標</p>	<p align="center">具体的目標</p>	
<p>本校は、創立120年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職・公務員、四年制大学・専門学校等を含め安定した進路実績がある。昨年度は学校幹旋による就職率100%、公務員についても受験した生徒の合格率100%を達成し、進路実績の質の向上が確認できた。また、令和8年度入学者選抜における受験志願者数は、出前授業の充実、SNSを活用した広報活動等を充実させたことで増加した。 「時を守り、場を清め、礼を尊ぶ」指導を通して、資格取得の内容の充実や部活動・学校行事の活性化等で本校の魅力を高め、より受験志願者数の増加を図り、入学定員を確保することが課題である。 本年度の周年行事に向けて職員一丸となって活気あふれる学校づくりに邁進する。</p>	<p>基礎学力の定着と自ら学ぶ力の育成</p>	<p>・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善と教科指導力の向上を図る。</p>	
	<p>キャリア教育の充実</p>	<p>・ICT機器の活用と個に応じた指導による「わかる授業」の実施と生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援の充実を図る。</p>	
	<p>工業教育の充実</p>	<p>・計画的なガイダンスや地域や企業との連携を効果的に実施し、キャリア意識の醸成を図る。</p>	
	<p>工業教育の充実</p>	<p>・多様な進路希望に応じた進路指導体制の充実を図る。</p>	
	<p>工業教育の充実</p>	<p>・学科・得意技コースの特徴を生かした教育活動の推進と専門的な知識と技術に関する指導力の向上を図る。</p>	
	<p>工業教育の充実</p>	<p>・テクノボランティア等による地域交流をとおして、生徒の自己肯定感の高揚を図る。</p>	
<p>人権教育の充実</p>	<p>・資格取得に向けた組織的指導体制を充実させる。</p>		
<p>人権教育の充実</p>	<p>・教育活動全体を通じた人権教育を推進し、生徒の人権意識や人権感覚の育成を図る。</p>		
<p>広報活動の充実</p>	<p>・出前授業、体験入学等の取組とホームページ、SNSを充実させる。</p>		
<p>広報活動の充実</p>	<p>・特色ある教育活動を発信し、生徒の自尊感情を高めるとともに、地域に信頼される学校を目指す。</p>		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	
教務部	教務課	ICT機器の活用と個に応じた指導の啓発を行い、生徒一人一人の実態に応じた「わかる授業」を推進する。	授業アンケートの実施(生徒) 学校満足度アンケートの実施(生徒・保護者)		
		主体的・対話的で深い学びが達成できる授業の拡充			授業において、生徒自ら課題を見つけ解決しようとする活動及び協働的な学びを推進する。 年間指導計画と評価・評定の規定を基に、授業計画・運営、評価方法の改善を図り、生徒の授業満足度を向上させる。
	教育情報課	地域社会に貢献できる工業人材の育成	座学と実習・製図等の連携を推進し、体系的な学習を構築すると共に「ものづくり」を中心とした人格形成を推進する。 実習及び課題研究を通して「テクノボランティア」の意識を高める。 生徒が主体的に課題を見つけ、自ら解決に向かう姿勢を醸成する。	授業アンケートの実施(生徒) 学校満足度アンケートの実施(生徒・保護者)	
		ICT機器を活用した授業改善を推進し、教員の指導力向上	ICT活用に関する研修を実施し、基本操作から授業活用までの習得を図る。 各教科でICTを活用した実践事例を共有する。 授業におけるICT活用状況を把握し、必要に応じて助言・支援を行う。	授業アンケート 職員に対するアンケート	
	研修・図書課	ICT機器を活用した効果的な授業の推進	Chromebookの活用例を共有することで使用率を上げ、学習効果を高める。 ICT支援員と連携することでICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。 ネットワークセキュリティを常に意識するように定期的に啓発を行い、情報漏洩防止の徹底を図る。	授業アンケート 職員に対するアンケート	
		本校および生徒の課題解決や職員のニーズに即した研修の企画運営を行う。	職員の資質や力量を向上させ、授業改善に資する研修を行う。 各分掌における課題解決に寄与し、職務の遂行に役立つ校内研修を行う。 職員の要望に応え、職員が積極的に参加できる研修を企画する。	授業アンケート 職員に対するアンケート	
	生徒指導課	図書館の環境整備を行い、生徒の読書活動を支援する。	図書委員会の活動を活性化させ、生徒の読書活動を一層活発にする。 生徒のニーズに即した選書を行い、貸出数を増やす。 「朝の読書」を通して、読書の習慣化と読解力の向上を図る。	生徒・職員に対する読書に関するアンケート	
		全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。 毎月学校生活アンケート等を実施し、生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行う。 生徒指導部通信を毎月1回発行し、生徒だけではなく保護者・地域に対して情報の提供や注意喚起を促すことで、学校・家庭・地域間の連携を強める。	学校生活アンケートの実施(生徒) いじめに特化したアンケートの実施(生徒・保護者) 生徒指導に関するアンケートの実施(生徒・保護者)	
		基本的な生活習慣の確立と規範意識を育む。	専門的知識を有する外部人材を活用した講演会を実施し、生徒が学習できる機会を設定する。 定期的な校外の巡回指導やいじめ防止対策委員会(教育相談委員会)を通して生徒の実態を把握し、学年や学科と連携して規範意識を高める。 朝の挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装や自律ある態度を育成すると同時に、生徒と教職員間の信頼関係構築に繋げる。	学校満足度アンケートの実施(生徒・保護者) 生徒指導に関するアンケートの実施(生徒・保護者) 各講演会後に実施するアンケート	
	生徒指導部	生徒会指導課	生徒会役員が、主体的な行事運営を行うことで生徒会活動の活性化を図る。 科代表、各種委員会長達が、主体的な行事運営を行うことで生徒会活動の活性化を図る。 生徒一人一人が生徒会の一員であることを自覚させ、それぞれの立場で役割を果たす態度を養う。	文化祭・体育祭アンケート実施(生徒・職員)	
魅力ある学校行事を実施し、学校PRに繋げる。		生徒が身に付けた専門的な技術を、地域社会に広く知ってもらえるよう学校行事を運営する。 学校行事等の準備において、話し合い活動を活発に行い、全校生徒の主体性を向上させる。 広報課と連携し、生徒会活動を計画的に地域社会に通知し、理解を得る。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)		
保健課	全職員と連携した保健業務を行い、生徒の心身の健康維持を図る。	保健室を利用する生徒へ適切に対応し、生徒各人の心身の問題点を早期把握するとともに、担任や学年等との連携に努める。 生徒の自己を振り返る機会を設けて、セルフチェックを行い、自己理解の深さを把握するとともに日頃の教育活動に役立てる。 教育相談委員会やSC・SSW等の相談機関と連携を深め、状況把握や助言を受けて早期対応を行う。	セルフチェックの実施(生徒)		
	日常の清掃活動を通して、美化意識の向上に努める。	日々の清掃状況を把握し、職員による支援や指導を通して生徒自ら校内美化に努める姿勢を涵養する。 美化コンクールを実施し、清掃活動の徹底と美化意識の向上を図るとともに、生徒に校内美化の重要性を理解させ、能動的に清掃活動に取り組む姿勢を形成させる。 掃除道具の調査や掲示物作成、委員会による呼びかけを通して過ごしやすい環境を整える。	清掃状況チェックリスト(生徒)の活用		

進路指導部	進路指導課	多様な体験や資格取得、検査模試の活用を通して、自己理解を深めさせ、主体的に進路希望を形成させる。	インターンシップ及び進路ガイダンスを実施し、職業理解と進路選択力の向上を図る。 各学科の特性に応じた資格取得を推進し、進路選択に資する専門性を育成する。 検査模試の結果を分析し、生徒にフィードバックすることで自己理解を深め、適切な進路選択につなげる。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		生徒の第一希望進路を実現できるようにする。	進路希望調査で生徒の進路希望を把握した上で、学科、学年に適切な進路情報を提供し、連携を図りながら体系的な指導を行う。 各科・第3学年と連携し、就職の面接指導を行う。 進学希望の生徒に対し、放課後や長期休業期間の受験対策指導を計画する。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
		キャリア教育課	資質・能力を身に付け、主体的に進路を選択できるようにする。	キャリアパスポートを通して、自己の在り方・生き方を考える力を育成させる。 学ぶことと社会・職業とのつながりを理解させる。 進路選択に必要な知識・態度を育成させる。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)
	総務企画課	各種学校行事を円滑に遂行する。	工業分野の基礎・基本を体系的に理解させる。 工業技術に関する課題を自ら見つけ、科学的根拠に基づいて解決する力を育成させる。 ものづくりを通じて地域や社会と連携を深める。	学校生活アンケート等(生徒・保護者)	
			式典や各種行事等において、各部署と協力連携し、職員への周知および情報共有を行い、各種学校行事を円滑に進める。 120周年記念行事実行委員会と連携し、120周年記念行事を成功につなげる。 教務、広報と連携し、中学校訪問や体験入学を通して、得意技コースの周知および本校の魅力を中学生に伝え、志願者増につなげる。	学校生活(満足度)アンケート	
		保護者、地域、同窓会との協力関係を築き、学校の活性化に繋げる。	PTA行事等への保護者への呼びかけを積極的に行い、理解や協力を得る。PTA行事について内容の精選を行う。 公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。 学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。	PTA総会授業参観保護者アンケート 学校生活(満足度)アンケート PTA懇談会保護者アンケート 創立記念行事保護者アンケート	
広報課	体験入学・進路相談事業等の充実	工業教育等と連携し、中学生や保護者に分かりやすい体験入学を実施する。 体験入学事後アンケートを実施し、結果をフィードバックして内容の充実を図る。 進路指導部と連携し、求人状況や進路内定状況などを正確に地域に発信する。	体験入学アンケート		
		新入生対象にアンケートを実施し、本校の強みや中学生が欲しい情報を精査する。 ホームページやインスタグラムの更新を積極的に行い、地域に分かりやすく伝える。 中学校訪問等で、中学生の状況や他の高校の情報収集に努める。	新入生アンケート		
	広報活動の戦略的・効率的な実施				
第1学年	基本的生活習慣の確立と工業人としての人間力の育成	整理整頓を習慣化するために、道具をもとに戻す、作業着をきちんと着ることを徹底させる。教室・ロッカーの整理整頓と清掃の徹底をさせる。 皆勤を目指し、学校のルールを守ることの大切さを伝えていき、「型」を身に付けさせる。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第1学年満足度アンケート(生徒)		
	学習習慣・基礎学力の定着	定期考査やその先の進路を見据えた授業を行い、生徒の意識向上を図る。 提出物を丁寧にすることと期限を守ることの大切さを伝える。 スタディサブリの計画的運用により、算数・数学を中心とした基礎学力の向上を図る。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第1学年満足度アンケート(生徒)		
第2学年	学校行事の参画による社会性と帰属意識の向上	校則、時間を厳守させ、基本的生活習慣を確立し学校行事参画を促す。 体育祭、修学旅行等における自身の役割を理解させ、主体的に活動させる。 校外研修をとおし、ルールやマナーを厳守させ、他者との相互理解を深めさせる。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第2学年満足度アンケート(生徒)		
	進路実現に向けた自己研鑽の意識と主体性の向上	生徒一人一人に適した指導方法を実践し、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。 学年集会、授業等で職業観と進路意識を高める。 資格試験を通して、計画を立てることの重要性和資格取得の意欲を高める。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第2学年満足度アンケート(生徒)		
第3学年	進路実現に向けて、最大限努力ができるような生徒の育成	進路実現に向けて、自ら考えて行動できる生徒の育成を図る。 学年として就職・進学支援ができる環境づくりを行う。 進路と連携し、面接指導等の計画を行い、合格率90%を目指す。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第3学年満足度アンケート(生徒)		
	基礎学力と進路意識の向上	定期考査や資格取得に向けた意識向上の為の学習環境および環境整備を行う。 基礎学力の向上が専門性を高める意識を持たせる指導を行う。 資格取得に対する意識を向上させ、キャリアアップを図る。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 第3学年満足度アンケート(生徒)		

工業教育部	建築科	資格取得・ものづくりの充実を図る。	各種検定試験において昨年度よりも高い合格率を目指す。 ものづくりを通して得た技術をテクノボランティア活動で地域貢献をする。 製図、実習、課題研究を通し、ものづくり活動を充実させる。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 建築科満足度アンケート(生徒)	
		進路意識の高揚を図る。	インターンシップや現場見学の取り組みを充実させ、進路意識の高揚を図る。 進路実現に向けて科の職員が面接指導を行い、就職合格率100%を目指す。 得意技コースにおいて、生徒が具体的な目標を持って選択できるような授業展開を行う。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 建築科満足度アンケート(生徒)	
	環境デザイン科	学科の特色を生かしたものづくりを行い、地域と連携し学校の活性化に繋げる。	地域と連携しものづくりを行い、主体的に取り組む姿勢を育成する。 座学と実習の関連性を理解させ、充実したものづくりを行う。 中学校訪問やSNSの活用を有効に行い、地域全体に特色をPRする。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 環境デザイン科満足度アンケート(生徒)	
		3年間を見通した進路意識を持たせ、社会で即戦力となる人材の育成をする。	進路指導部と連携し、適正率の高い進路希望の決定とその合格率を高める。 礼節や正しいマナーを身に付け、時間と規則を遵守できるように指導する。 主体的に資格取得に取り組むことができるように環境整備を行う。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 環境デザイン科満足度アンケート(生徒)	
	機械科	職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力、実践力を育成する。	「主体的な姿勢」「責任感」「信頼される行動」ができる人材育成に努める。 挨拶を自ら率先して行う。疑問に思うことは放置せず、その場で質問し解決しようとする意識を持たせる。時間の厳守の徹底と期限(デッドライン)を守らせる。 思いやりの心や感動する心を養い自己肯定感を高めさせ、社会貢献ができるための意識を育てる。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 機械科満足度アンケート(生徒)	
		ものづくり教育の充実に努め、実践的機械技術者としての意識と資質を育む。	基礎・基本を重視し、また、座学と実習の連携を強化することで専門性を高める。さらに、安全教育を徹底し怪我や事故を一人も出さない取組を行う。 専門の学習や資格取得等の指導において、自らの課題等を見出し、家庭学習を含めた学習習慣を身に付けさせるとともに、自ら学ぼうとする姿勢を育成する。 進路情報を職員で共有し、個に応じた指導を行うことで、全員の進路実現を目指す。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 機械科満足度アンケート(生徒)	
	材料技術科	基本的な生活習慣を身に付け挨拶の励行を図る。	学科、全ての活動の中で、服装・礼儀・挨拶など6Sの指導を徹底し、社会性を身に付けた生徒の育成を行う。 挨拶・規律・確認の大切さを実感させるために実習においては、機器類の安全な操作方法や工具等の整理整頓の徹底を図るとともに安全作業での6Sをよく理解させる。 日頃から生徒状況を共有し、学科全体で生徒を指導する体制づくりを行い、社会人育成を図る。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 材料技術科満足度アンケート(生徒)	
		専門的知識と学力の向上を目標に取り組み、進路実現に繋げ、社会人育成を図る。	生徒個々の力に合った指導を行い、分かりやすい授業に取り組み、教科指導の充実を図る。 インターンシップや工場見学等で就業心をよく理解させ、学校生活の中に取り組み、社会人として行動できる人材を育成する。 資格取得の指導と授業の関連性を密にし実習等で知識を深めることで技術の習得を行い、合格率向上に繋げる。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 材料技術科満足度アンケート(生徒)	
	電気科	基本的な生活習慣の確立を図る。	欠席、遅刻等の状況を日常的に把握し、継続的な指導及び家庭との連携を通して、規則正しい生活習慣の定着を図る。 時間管理や生活リズムの重要性について指導を行い、自己管理能力の向上を図る。 各授業や資格指導を通して、学ぶことの大切さを理解させ、家庭学習の習慣化を図る。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 電気科満足度アンケート(生徒)	
		学力向上、資格取得の推進に取り組み、進路実現を図る。	ICTの活用や授業改善に取り組み、「わかる授業」、「個別最適化された授業」を行う。 資格取得を生徒が主体的に取り組むように促し、各試験の指導を行い合格率を向上させる。 進路実現に向けて職員全員で面接指導や試験対策を行い、就職合格率100%を達成する。	学校生活アンケート(生徒・保護者) 電気科満足度アンケート(生徒)	